

月	学 習 活 動 (時数) 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	外部との連携 (人・もの・こと)
大月町の海の力 (70 時間)		
柏島のポテンシャルとは？ (20時間)		
4	①自分たちはこれまでどんな総合的な学習の時間をしてきた？ ①大月町のことを県外の人たちは、どれくらい知っているのだろうか？	・修学旅行先の観光客 ・旅行会社
5	②修学旅行で、県外の人たちは大月町のことをどれだけ知っているのか、アンケートしてみよう。また、大月町のことについて自分たちが学んできたことを発信して、どんな反応があるだろうか？グループごとに生の声を集めよう。	
6	③集めた情報を整理しよう。 ・大月町の認知度は？来てみたい町だと思っただろうか？ ・大月町の魅力について、どんな情報を伝えたら行きたいと思ってくれた？	
7	④柏島について、とても魅力的だと言う声が上がった。柏島を中心に、観光産業を活性化できないだろうか？自分たちにできることはないだろうか？	
	①柏島の魅力とは何だろうか？	
	②柏島の観光資源としての価値は？	
	②柏島の未来はどうなっていく？	
9	③柏島には、観光資源としての価値に加え漁業・養殖業、環境保全など、様々な役割がある事に気づく。	
10	柏島だけじゃない。大月町の海が持つ力 (50時間)	
	①自分たちが知っている大月町の魅力って何だろう？	・黒潮実感センター
11	①大月町の海にはどんな魅力があるのかな？	・黒潮生物研究所
12	①大月町の海に携わる人たちは、どんな思いでそれぞれの仕事をしているのだろうか？	・移住者 ・竜が浜キャンプ場
1	①県外から、わざわざ柏島に来る人たちは、何を求めてきているのだろうか？	・檜西海岸
2	①自分たちが知らない魅力ってあるのかな？困り感や苦勞・難しさは何だろうか？	・周防形キャンプ場
	①中学生だからこそ伝えられることってないだろうか？	
3	②大月町の海に携わる様々な人に出会い、大月町の海を様々な角度から捉え直してみよう。	
	③産業面・観光面・環境面から、大月町の海を整理し、今後の自分達の活動について考えよう。	
	②環境面から大月町の海の現状について調査する。	
	④これまでの活動から見えてきた大月町の価値と役割について、町内外の人たちに発信活動を行う。	
	④これから先、大月町の海を守り続けていくために、自分達に何ができるか考え、次年度の見通しを立てる。	